

# 【参考2】経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成について

ICTの急速な発展のもと、データに基づく数量的な思考により、課題を解決する能力、いわゆる、“データサイエンス”を身に付けた人材が不可欠。

“データサイエンス”力の高い人材育成により、我が国の国際競争力を強化し、経済成長を加速。

【課題】我が国でデータサイエンスに関する人材が不足。

このため、“データサイエンス”力の高い人材育成とその学習基盤整備が急務。

## 【当面の政策】

統計（データ）リテラシーの普及・啓発を先導してきた総務省が、ICTを活用し喫緊の本課題へ対応。ビジネスマンなどの社会人に対するデータサイエンス普及のための以下の取組を統計学会等と協力し推進。

### ①統計力向上サイト「データサイエンス・スクール」の開設（平成26年6月1日）

パソコンやスマートフォンなどでデータの活用方法や統計に関する知識を、いつでも誰でも気軽に学べる学習サイト

### ②「データサイエンス・オンライン講座」の開講（平成27年3月17日）

ウェブ上で誰でも参加可能なオープンな講義（「MOOC」を活用）

#### ○「社会人のためのデータサイエンス入門」（平成28年12月13日開講予定）

⇒3回の開講で延べ3万4千人を超える受講者

※開講実績：平成27年3月17日開講（受講者15,435人）、11月17日開講（受講者8,425人）、  
平成28年3月1日特別開講（受講者10,375人）

（特別開講時は、11月17日開講時と同じ内容の課題であるため、修了証は発行していない）

#### ○「社会人のためのデータサイエンス演習」（平成28年4月19日開講）

※開講実績：平成28年4月19日開講（受講者13,939人）



➡ 「世界最先端IT国家創造宣言」（平成28年5月20日閣議決定）等に基づき推進